

# 「精神科救急」を大解剖!!

## 精神科急性期の治療、全部見せちゃいます

2023年2月号の『べるぶ neo』でも特集した「精神科救急」。今回は、実際に入院病棟で行っている治療プログラムを紹介します!



### 精神科救急病棟での治療

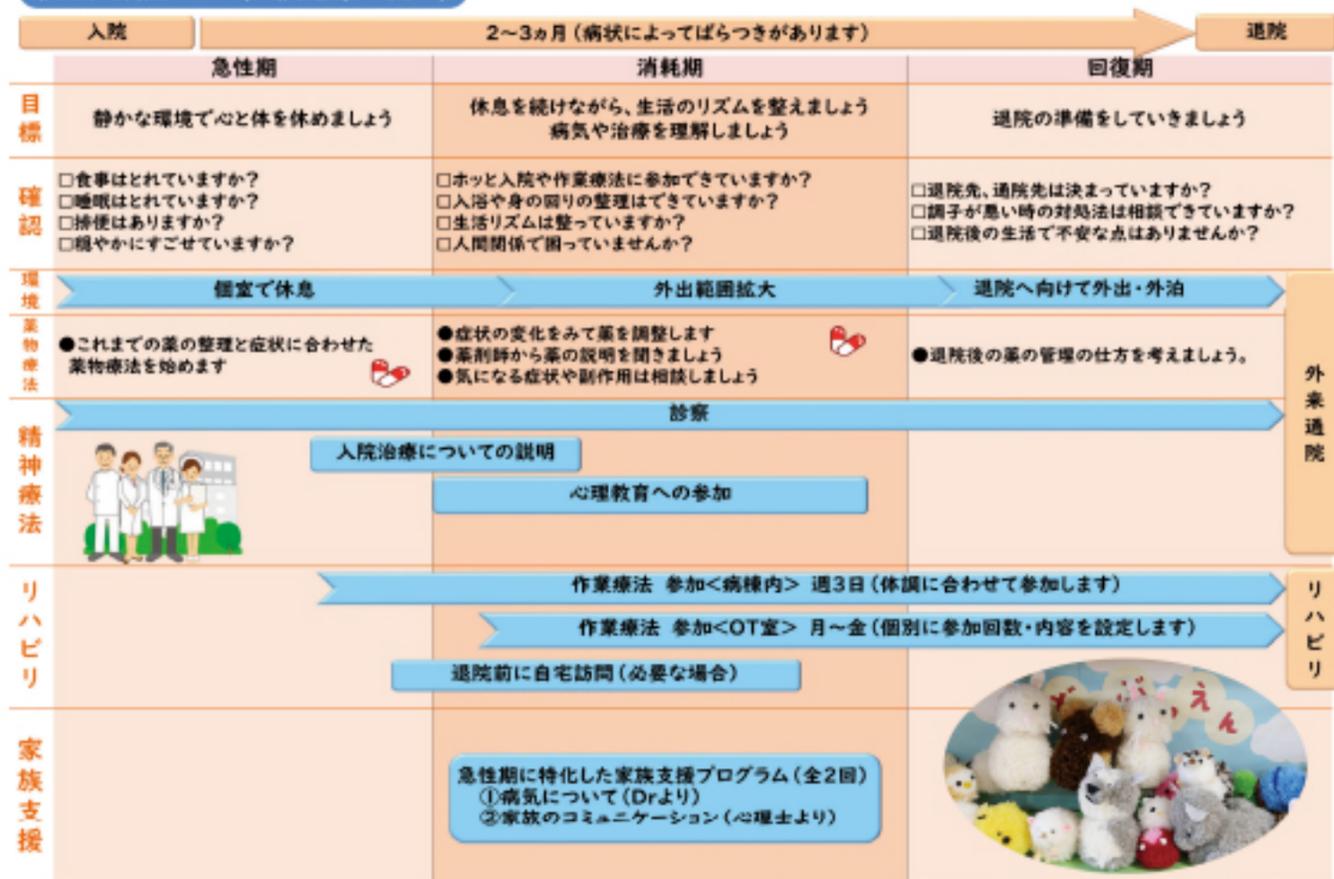
#### 宇治おうばく病院の精神科救急

当院は精神科救急急性期医療入院料を算定している病棟を2病棟、精神科急性期治療病棟入院料1を算定している病棟を1病棟有しています。京都府精神科救急医療システムにも積極的に参画しており、地域の医療機関からのみならず精神科救急情報センターや警察等から24時間、365日、精神科救急患者の受け入れを幅広く行っています。急性の精神症状を呈する患者さんに対し、迅速かつ適切に多職種が連携し薬物療法や精神療法、環境調整などを集中して行い、概ね3か月以内の退院を目指します。

#### 精神科救急の治療過程

精神急性期の治療は大きく前期、中期、後期に分けられます。前期では休息と刺激遮断が中心となり、静かな環境の提供が行われます。この時期には必要な検査、診断、積極的な薬物治療も行われます。患者さんの病状によっては行動制限を要することもあります。また、早期から作業療法などの治療プログラムも導入します。中期では静かな環境下から他の患者さんもいる環境

統合失調症パス (入院治療の流れ)



に移り、作業療法の内容含め活動範囲を徐々に広げていきます。もちろん、薬剤調整も並行して行います。作業療法のプログラムにはのんびり勉強会というものがあり、患者さん自身が集団で疾患について学ぶ機会もあります。後期では外出、自宅外泊などを行うほか、退院後の生活を見据え種々のサービス調整を行います。

